

令和4年度第1回タウンミーティング開催報告

日時：令和4年5月24日（火）
10時30分から12時まで
場所：高野台市民ホール

高野台市民ホールにて、タウンミーティングを開催し、たくさんの方にご来場いただきました。参加者に向けて、市長より「データに基づく吹田市の今とこれから」と題し、講演を行った後、講演の内容を踏まえ意見交換を行いました。

1 講演

資料の説明に入る前に、吹田市に避難されたウクライナ国民の方に触れ、相手の身になって考えることの大切さを説明しました。

様々なデータに基づき、吹田市の現状と課題や、吹田のまちづくりの進捗状況について、具体例を交えて解説しました。



2 意見交換の主な内容

参加者 4月の市報で、健康寿命の延伸を目的としたアプリを開発しているという記事を目にしたが、こういった内容のものか。

市長 自分の習慣を記録することで、健康を意識することになり、健康寿命の延伸に繋がるものである。

参加者 吹田市の家賃、物件価格が高騰しており、若い人が住むことが出来なくなっている。

市長 家賃で言えば、吹田市には公営住宅が数多くあり、南千里の駅前にも大きな市営住宅がある。物件価格も確かに高騰しているが、あくまで新築の場合の話である。全ての条件を満たす場所を探すのは難しいかもしれないが、どこにも住めない状態ではないことをご理解いただきたい。

参加者 吹田市の財政状況は健全であると聞いている。ゴミ袋の無料配布を再開してほしい。

市長 財政の問題で無料配布をやめているわけではない。ゴミの減量化という政策上の問題であることをご理解いただきたい。

参加者 高野台の大和谷公園にトイレは出来ないか。

市長 公園のトイレ問題は認識している。土木部で公園のトイレをどこに作って、どこをなくしてという計画を立てているので、確認しておく（※1）。

（※1）公園みどり室に確認したところ、公園便所の設置必要性和設置数を判断するた

めの設置基準を定めた「吹田市公園便所基本計画」を令和3年3月に策定し、高野公園（大和谷公園は高野公園の通称）は「地域から設置要望がある場合に1箇所設置することとしています。

現時点での設置予定はありませんが、今後地域から設置要望があった場合は、設置に対する賛否が分かれやすい特殊性があるため、その意向を十分に確認した上で事業化する予定です（事業化にあたっては、年次的に事業を推進していくこととなるため、設置までに一定の期間を要します。）とのことです。